

エコアクション21 環境経営レポート

(令和4年度版)

運用期間：令和4年4月～令和5年3月



株式会社 豊浦環境管理センター

発行：令和5年6月15日

目次

	頁番号
環境経営方針	1
1. 事業の概要	2~3
2. 組織図及び実施体制	4
3. 環境経営目標	5
4. 環境経営計画	6
5. 環境経営目標に対する実績	7
6. 環境経営計画の取組結果とその評価	8~9
7. 次年度の環境経営目標	10
8. 次年度の環境経営計画	11
9. 環境関連法規等への違反、訴訟の有無	12
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	12

環境経営方針

【基本理念】

株式会社 豊浦環境管理センターは、広く上水道～下水道に関わる企業として、地球環境保全に積極的に取り組みます。

その手段として、エコアクション21に基づく環境経営システムを確実に構築・運用し、地球環境保全に貢献し続ける企業であることを目指します。

【行動指針】

以下の行動指針に基づき、環境経営目標及び環境経営計画を定め、定期的な見直しを行い、環境経営の継続的改善を実施します。

- 1) 二酸化炭素の排出削減に取り組みます。
 - ・車両の運転方法等改善による燃料使用量の削減
 - ・節電活動による電気使用量の削減
- 2) 廃棄物の削減に取り組みます。
 - ・裏紙使用等による紙使用量の削減
- 3) 水使用量の削減に取り組みます。
 - ・節水活動による水使用量の削減
- 4) 事業活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
- 5) 地域社会との良好なコミュニケーションを図り、地域の環境保全に努めます。
- 6) 従業員の育成と働きやすい職場環境の整備に努めます。
- 7) この環境経営方針は、全従業員に周知し、研修や教育により全従業員の環境保全意識の向上に努めます。
- 8) この環境経営方針は広く一般に公表します。

平成29年2月28日制定
(認証・登録：平成29年11月27日)
令和2年3月30日改定
株式会社 豊浦環境管理センター

代表取締役社長

山田 幹二

1.事業の概要

(1)名称及び代表者名

株式会社 豊浦環境管理センター
代表取締役社長 山田 幹二

(2)所在地

〒759-6312 山口県下関市豊浦町大字黒井2121番地1

(3)環境管理責任者及び担当者氏名並びに連絡先

環境管理責任者
部長 石村 一行 TEL：083-772-3426
Mail：ishimura@toyoura-emc.co.jp

環境管理担当者
甲斐 健太郎 TEL：083-772-3426
Mail：kai@toyoura-emc.co.jp

(4)事業内容

一般建設業
産業廃棄物収集運搬業
一般廃棄物収集運搬業
浄化槽清掃・維持管理業
下水道処理施設維持管理業
貯水槽清掃業

(5)事業規模

創立 1982年8月10日
資本金 960万円

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
売上額(百万円)	381	320	415
従業員数(人)	24	25	25
建物延べ床面積(m ²)	301	301	301
受託した廃棄物収集運搬量(t)	8,063	8,217	8,000
工事受注件数(件)	488	489	453

(6)事業年度

4月～3月

(7)認証登録範囲

全組織・全活動

(8) 許可内容

番号	県・市区分	許可・登録	許可・登録番号	許可・登録年月日 及び有効年月日	事業の範囲	
					廃棄物の種類・区域の条件	事業の区分
1	山口県	産業廃棄物収集運搬業許可	第03500049432号	令和4年8月5日	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（がれき類を除く。）・陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。以上3種類）、汚泥、廃油、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、がれき類、動物のふん尿（これらは、石綿含有産業廃棄物であるものを含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。）以上14種類	産業廃棄物収集運搬業（積替え又は保管を除く。）
				令和9年7月2日		
2	下関市	産業廃棄物収集運搬業許可	第07510049432号	令和4年7月3日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く。）、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、ゴムくず、金属くず（自動車等破砕物を除く。）、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（自動車等破砕物を除く。）、コンクリートくずは、工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く。）、がれき類、動物のふん尿 以上14種類 これらは、石綿含有産業廃棄物であるものを含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。	産業廃棄物収集運搬業（保管積替えを含む。（※1））
				令和9年7月2日		
3	下関市	一般廃棄物処理業許可	第21303号	令和4年4月1日	一般廃棄物（し尿）／豊浦大津衛生センター処理区（豊浦に限る。）	一般廃棄物処理業（保管積替えを含まない）
				令和6年3月31日		
4	下関市	一般廃棄物処理業許可	第31303号	令和4年4月1日	一般廃棄物（浄化槽汚泥）／豊浦大津衛生センター処理区（菊川、豊浦に限る）	一般廃棄物処理業（保管積替えを含まない）
				令和6年3月31日		
5	下関市	浄化槽清掃業許可	第33303号	令和4年4月1日	-	浄化槽清掃業
				令和6年3月31日		
6	下関市	浄化槽保守点検業者登録	第34303号	令和4年3月19日	豊浦大津衛生センター処理区（菊川、豊浦に限る。）	浄化槽保守点検業
				令和7年3月18日		
7	山口県	建築物飲料水貯水槽清掃業登録	山口県 16貯 第2の5の8号	令和4年6月30日	-	建築物飲料水貯水槽清掃業
				令和10年6月29日		

(※1) 保管積替え条件…面積；5.45m²及び60m²／保管上限；33.6m³

(※2) 各許可とも有効年月日に応じて更新手続実施

(9) 産業廃棄物及び一般廃棄物運搬に使用する車両の種類と台数

種別	台数	最大積載量
バキューム車	4台	3,000kg
		2,900kg
		3,700kg
		1,950kg
バキュームカー	1台	2,500kg
普通トラック	1台	5,900kg
普通トラック	1台	4,000kg
小型トラック	1台	2,000kg
軽ダンプ	1台	350kg

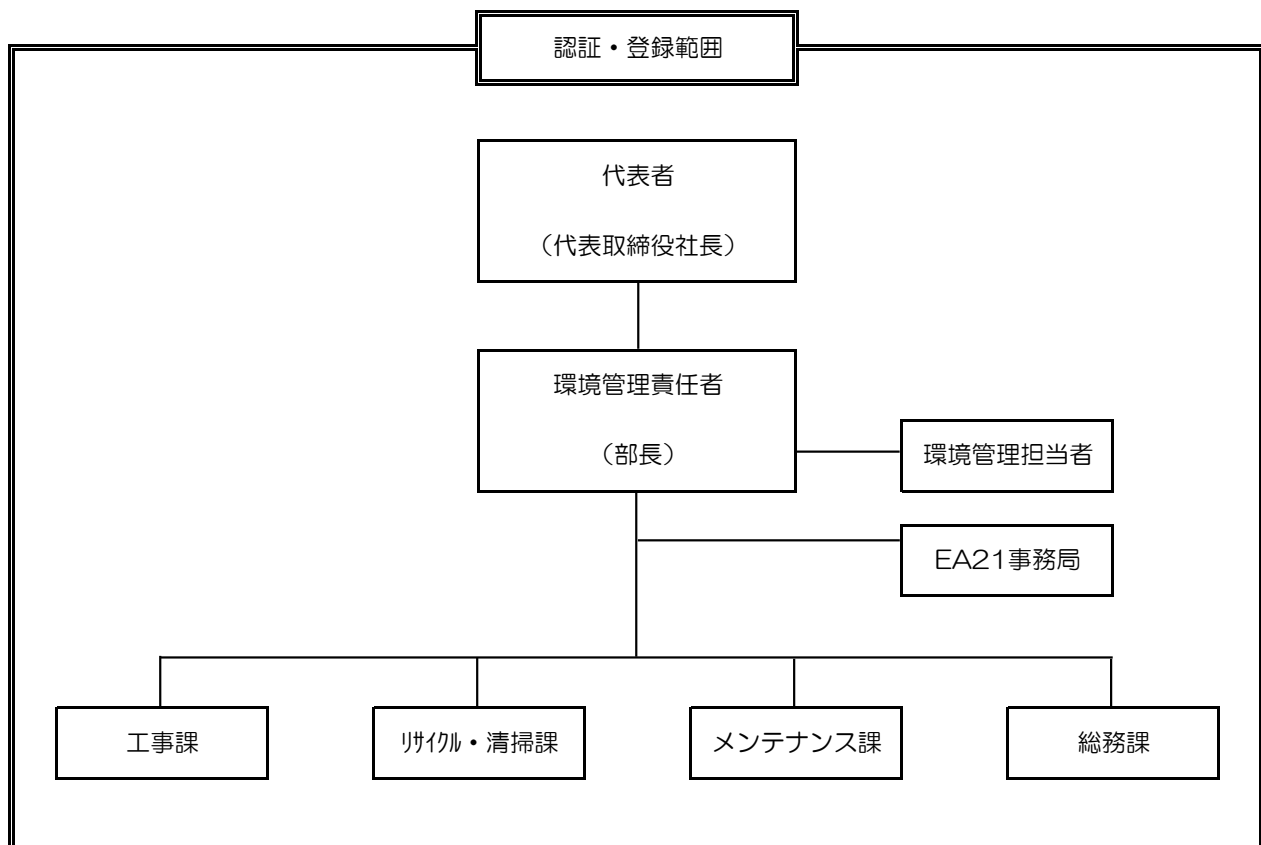
(10) 処理実績

受託した産業廃棄物の収集運搬量		(単位：t)		
種別		令和2年度	令和3年度	令和4年度
産業廃棄物	汚泥	776	788	762

(11) レポートの対象期間 令和4年4月～令和5年3月

(12) 発行日 令和5年6月15日

2.組織図及び実施体制



所属（役職）	役割・責任・権限・使命
代表者 (代表取締役社長)	全体の統括、環境方針の設定、全体の評価と見直しを行う
環境管理責任者 (部長)	全体の把握、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
環境管理担当者	環境管理責任者のもとで、環境経営システムの構築、運用、状況把握を行う
EA21事務局	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理をする
責任者 (各課より選出)	EA21の各取組項目の活動を統括する
担当者	EA21の各取組項目の環境活動計画実施を担当する

3. 環境経営目標

(令和4年度)

事業年度: 4月1日～翌年3月31日

CO₂排出係数... 令和2年度9月まで⇒中国電力:0.697kg-CO₂/kWh(H27年度・実排出係数)を採用
 令和2年度10月～令和4年6月:大和ハウス工業:0.571kg-CO₂/kWh(H30年度・調整後排出係数)を採用
 令和4年7月から⇒中国電力:0.521kg-CO₂(2020年度実績・調整後排出係数)を採用
 (令和4年度目標は両者の加重平均0.530kg-CO₂、令和5年度・6年目標は0.521kg-CO₂で計算)

項目	単位	平成27年度(基準年度)													EA21/1年目		EA21/2年目		EA21/3年目		EA21/4年目		EA21/5年目		EA21/6年目	EA21/7年目	EA21/8年目	
		平成29年度													平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度			
		年度計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標			
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	99,328	5,269	7,056	8,028	7,937	8,102	8,010	7,353	8,127	7,951	7,329	12,665	11,501	98,335	98,366	95,355	92,306	91,857	92,229	91,128	105,516	89,972	102,793	94,295	93,490	92,803	
1-1. 電力使用量の削減	kWh	14,374	1,082	919	1,037	1,048	1,356	1,076	982	1,052	1,047	1,365	1,752	1,658	14,230	15,008	14,230	13,800	13,583	13,087	12,537	13,921	13,280	14,802	12,962	12,922	12,892	
(合計)																												
①事務所電灯	kWh	9,640	736	679	777	758	894	800	748	800	761	772	954	961	9,544	10,281	9,544	9,585	9,495	9,644	9,495	9,421	9,409	9,124	9,091	9,062	9,042	
②事務所動力	kWh	3,384	252	146	135	178	348	172	130	135	168	469	669	582	3,350	3,613	3,350	3,413	3,333	2,587	2,538	3,507	3,367	4,272	3,367	3,367	3,367	
③倉庫	kWh	1,050	70	70	98	85	84	81	79	92	95	100	104	92	1,040	827	1,040	514	504	596	504	686	504	1,131	504	494	483	
1-2. 軽油使用量(車両)の削減	ℓ	18,927	1,104	1,495	1,784	1,682	1,474	1,547	1,485	1,687	1,616	1,256	1,688	2,110	18,738	19,986	18,738	19,145	18,738	19,847	18,738	20,881	18,738	20,887	20,657	20,553	20,448	
1-2'. バキューム車(軽油)の作業効率向上	m ³ /ℓ [処理/軽油(バキューム車)]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.431	-	0.432	0.435	0.425	0.435	0.448	0.453	0.455	0.457	
																		(6,105/14,152)		(6,595/15,279)		(6,825/15,584)		(6,754/15,083)				
1-3. 軽油使用量(工事関係)の削減	ℓ	2,451	4	32	0	90	97	63	82	52	96	118	1,523	294	2,426	1,703	2,255	1,379	2,058	546	2,058	4,286	2,058	3,108	2,058	2,034	2,009	
1-4. ガソリン使用量(車両・工事関係)の削減	ℓ	14,262	689	1,034	1,127	1,098	1,304	1,304	1,098	1,216	1,172	1,191	1,295	1,734	14,119	13,346	13,121	12,415	11,980	12,744	11,980	13,222	11,980	13,512	11,980	11,837	11,695	
2. 廃棄物排出量の削減																												
2-1. コピー用紙購入量の削減(一般廃棄物の削減)	kg	256.0	15.5	19.0	2.0	16.0	3.5	25.5	20.0	25.5	20.0	14.0	27.5	67.5	253.4	187.0	179.2	250.0	179.2	261.0	179.2	273.0	179.2	278.0	179.2	174.1	169.0	
3. 総排水量(水使用量)の削減(合計)	m ³	395.0	29.5	29.5	32.5	32.5	34.5	34.5	34.0	34.0	29.5	29.5	37.5	37.5	391.1	334.0	327.9	293.0	281.8	294.0	278.5	203.0	198.2	198.0	190.0	183.4	176.9	
2項目																												
①倉庫	m ³	329.0	29.0	19.0	28.0	28.0	29.0	29.0	29.5	29.5	25.0	25.0	29.0	29.0	325.7	279.0	273.1	250.0	240.2	250.0	236.9	152.0	148.1	156.0	148.1	141.5	134.9	
②事務所	m ³	66.0	7.0	4.0	4.5	4.5	5.5	5.5	4.5	4.5	4.5	4.5	8.5	8.5	65.3	56.0	54.8	43.0	41.6	45.0	41.6	51.0	50.2	42.0	42.0	42.0	42.0	
4. 建設産業廃棄物の再資源化率向上	%	86.3	60.2			58.0			69.2			98.2			87.3	92.0	93.3	83.9	93.3	43.8	93.3	95.6	96.0	82.9	96.0	96.2	96.4	
5. 受託廃棄物の収集運搬に関する環境配慮	-	適正に収集運搬	適正に収集運搬										適正に収集運搬										適正に収集運搬する(作業中、運搬中に外部に飛散漏洩させない)					
6. 化学物質の適正管理	-	適正に管理	適正に管理										適正に管理										適正に管理する					
7. グリーン購入の推進	-	-	-										商品購入時はグリーン購入を推進										商品購入時はグリーン購入を推進する					
8. 会社周辺の清掃	実施回数	-	-										1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	
9. 有給休暇6日/年以上取得	取得者率(%)	-	-										対象従業員の50%以上		38	(-12%)	対象従業員の50%以上		14	(-36%)	対象従業員の52%以上		33	(-19%)	対象従業員の52%以上		対象従業員の57%以上	対象従業員の61%以上
10. 資格1件/年以上取得	取得者率(%)	-	-										対象従業員の30%以上		19	(-11%)	対象従業員の30%以上		33	(+3%)	対象従業員の38%以上		10	(-28%)	対象従業員の38%以上		対象従業員の42%以上	対象従業員の47%以上
11. 合併処理浄化槽への転換工事の促進	件数	-	みなし(単独)浄化槽⇒合併処理浄化槽(転換工事)【当社のみなし(単独)浄化槽顧客:約1000件】													6件		3件	(-3件)	5件	7件	11件						

※ 令和4年度目標は、令和3年度実績を踏まえて、より高い目標値を設定。ただし未達項目は、基本的に令和3年度目標値のスライドとする。
 ただし、「1.二酸化炭素排出量の削減」の目標値は、1-1～1-4の目標値から計算した値を目標値とする。
 ※ 事務所の水使用量は、新型コロナウイルス感染症対策を優先して、手洗いを十分に行うため、当面はR3年度実績同等程度を目標値に置く。
 ※ 事務所動力は、新型コロナウイルス感染症対策を優先して、エアコン作動中の換気を行うため、当面はR2年度実績同等程度を目標値に置く。
 ※ 軽油使用量(車両)は、バキューム車での作業量(浄化槽清掃量)が、基準年度(H27年度)当時と比べて大幅に増加しており、基準年度に対する低減目標を設定することが現実的ではなくなった。
 そこで、R4年度以降はR3年度並のバキューム車での作業量が見込まれるため、R3年度の軽油使用量実績を踏まえた目標設定を行う。
 それに伴い、二酸化炭素排出量の目標設定も、R3年度の軽油使用量実績を考慮したものとす。
 (ただし、過年度との比較のため、増減比率はH27年度実績比で表す。)

()内は基準年度の実績値に対する増減比率
 赤字は目標未達、青字は目標達成、黒字は評価無を示す

4. 環境経営計画

(令和4年度)

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 電力使用量の削減	1 エアコンは下記設定温度を目安にし適正に使用する【環境省推奨設定温度:夏季28℃、冬季20℃】	← 実行 →		← 実行 →	
	2 昼休憩前に事務所2F休憩室のエアコンを自動運転開始する(エアコンの使用が必要な日について)	← 実行 →		← 実行 →	
	3 エアコン不使用時期(春・秋)は、エアコンの元電源をOFFにする	← 実行 →		← 実行 →	
	4 エアコンのフィルターを使用頻度に応じて定期的に清掃する	← 実行 →		← 実行 →	
	5 事務所の床暖房を適正に使用する			← 実行 →	
	6 OA機器は長期不使用時には電源OFFにする	← 実行 →			
	7 倉庫の不要な照明を消灯する	← 実行 →			
	8 事務所の不要な照明を消灯する	← 実行 →			
2 軽油使用量(車両)の削減	1 エコドライブの励行	← 実行 →			
	2 アイドリングストップの励行	← 実行 →			
	3 冷暖房を適正に使用する	← 実行 →			
	4 走行距離の短縮(ルート最適化)	← 実行 →			
	5 車両点検の実施(タイヤ空気圧の適正化等)	← 実行 →			
3 ハイキュム車(軽油)の作業効率向上	1 ベテランの指導による若手の清掃技術向上	← 実行 →			
4 軽油使用量(工事関係)の削減	1 アイドリングストップの励行	← 実行 →			
5 ガソリン使用量(車両・工事関係)の削減	1 エコドライブの励行	← 実行 →			
	2 アイドリングストップの励行	← 実行 →			
	3 冷暖房を適正に使用する	← 実行 →			
	4 走行距離の短縮(ルート最適化)	← 実行 →			
	5 車両点検の実施(タイヤ空気圧の適正化等)	← 実行 →			

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
コピー用紙購入量の削減(一般廃棄物の削減)	1 無駄印刷の低減(印刷前にPC作成内容をよく確認する)	← 実行 →			
	2 印刷枚数を少なくする方法の工夫(両面印刷、縮小レアウト等)	← 実行 →			
	3 ペーパーレス化の推進(PDF保存等によるコピー枚数の低減)	← 実行 →			
	4 新複合機の積極的な使用(紙詰まりロスの低減)	← 実行 →			
	5 裏紙の利用	← 実行 →			

3. 総排水量(水使用量)の削減

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
水使用量の削減	1 節水意識の向上(倉庫・事務所両方)	← 実行 →			
	2 洗車、用具洗浄等への井戸水の積極使用(倉庫側)	← 実行 →			

4. 建設産業廃棄物の再資源化率向上

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
再資源化率向上	1 コンクリートがら、アスコンがら、ガラス・陶磁器くずの分別廃棄推進	← 実行 →			

5. 受託廃棄物の収集運搬に関する環境配慮

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
適正に収集運搬	1 始業前の収集車両機能点検・整備を徹底する	← 実行 →			

6. 化学物質の適正管理

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
適正管理	1 SDSの使用上の注意事項を守る	← 実行 →			
	2 適正に保管する	← 実行 →			

7. グリーン購入の推進

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
グリーン購入の推進	1 商品購入時はグリーン購入を推進する	← 実行 →			

8. 会社周辺の清掃

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会社周辺の清掃(1回/月以上)	1 朝礼前に会社周辺の清掃活動(しものせき美化美化大作戦参加)	← 実行 →			

9. 有給休暇6日/年以上取得

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
対象従業員の52%以上(取得者率)	1 対象従業員へ取得計画を促し、取得状況をフォローする	← 実行 →			

10. 資格1件/年以上取得

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
対象従業員の38%以上(取得者率)	1 資格一覧表(ホワイトボード)を使って、資格取得を促す	← 実行 →			

11. 合併処理浄化槽への転換工事の促進

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
転換工事(5件)	1 単独浄化槽の顧客に対し、各点検担当者からの補助金説明、見積対応、工事対応を計画的に実施する	← 実行 →			

5. 環境経営目標に対する実績

(令和4年度)

事業年度:4月1日～翌年3月31日

目標達成: 青色表示
目標未達: 赤色表示

項目	単位	平成27年度 (基準年度)	EA21/1年目	EA21/2年目	EA21/3年目	EA21/4年目	EA21/5年目	EA21/6年目		
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			年間	実績	実績	実績	実績	実績	目標	実績
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	99,328	98,366 (-0.97%)	92,306 (-7.1%)	92,229 (-7.1%)	105,516 (+6.2%)	102,793 (+3.5%)	94,295 (-5.1%)	99,716 (+0.4%)	
1-1. 電力使用量の削減 (合計)	kWh	14,374	15,008 (+4.4%)	13,800 (-4.0%)	13,087 (-9.0%)	13,921 (-3.2%)	14,802 (+3.0%)	12,962 (-9.8%)	15,305 (+6.5%)	
主要 3項目	①事務所電灯	kWh	9,640 (+6.6%)	9,585 (-0.6%)	9,644 (+0.04%)	9,421 (-2.3%)	9,124 (-5.4%)	9,091 (-5.7%)	9,232 (-4.2%)	
	②事務所動力	kWh	3,384 (+6.8%)	3,413 (+0.9%)	2,587 (-23.6%)	3,507 (+3.6%)	4,272 (+26.2%)	3,367 (-0.5%)	4,121 (+21.8%)	
	③倉庫	kWh	1,050 (-21.2%)	514 (-51.0%)	596 (-43.2%)	686 (-34.7%)	1,131 (+7.7%)	504 (-52%)	1,568 (+49.3%)	
1-2. 軽油使用量(車両)の削減	ℓ	18,927	19,986 (+5.6%)	19,145 (+1.1%)	19,847 (+4.9%)	20,881 (+10.3%)	20,887 (+10.4%)	20,657 (+9.1%)	20,769 (+9.7%)	
1-2'. バキューム車(軽油)の 作業効率向上	m ³ /ℓ [処理/軽油(バキューム車)]	-	-	0.431 【新基準】	0.432 (+0.0%)	0.425 (-1.4%)	0.448 (+3.9%)	0.453 (+5%)	0.433 (+0.5%)	
				(6.105/14.152)	(6.595/15.279)	(6.625/15.584)	(6.754/15.083)		(6.580/15.199)	
1-3. 軽油使用量(工事関係)の削減	ℓ	2,451	1,703 (-30.5%)	1,379 (-43.7%)	546 (-77.7%)	4,286 (+74.9%)	3,108 (+26.8%)	2,058 (-16%)	2,968 (+21.1%)	
1-4. ガソリン使用量(車両・工事関係) の削減	ℓ	14,262	13,346 (-6.4%)	12,415 (-12.9%)	12,744 (-10.6%)	13,222 (-7.3%)	13,512 (-5.3%)	11,980 (-16%)	12,668 (-11.2%)	
2. 廃棄物排出量の削減										
2-1. コピー用紙購入量の削減 (一般廃棄物の削減)	kg	256.0	187.0 (-27.0%)	250.0 (-2.3%)	261.0 (+2.0%)	273.0 (+6.6%)	278.0 (+8.6%)	179.2 (-30%)	398.0 (+55.5%)	
3. 総排水量(水使用量)の削減 (合計)	m ³	395.0	334.0 (-15.4%)	293.0 (-25.8%)	294.0 (-25.6%)	203.0 (-48.6%)	198.0 (-49.9%)	190.0 (-51.9%)	182.0 (-53.9%)	
2項目	①倉庫	m ³	329.0 (-15.2%)	250.0 (-24.0%)	250.0 (-24.0%)	152.0 (-53.8%)	156.0 (-52.6%)	148.1 (-55%)	145.0 (-55.9%)	
	②事務所	m ³	66.0 (-15.2%)	43.0 (-34.8%)	45.0 (-31.8%)	51.0 (-22.7%)	42.0 (-36.4%)	42.0 (-36.4%)	37.0 (-43.9%)	
4. 建設産業廃棄物の再資源化率向上	%	86.3	92.0 (+5.7%)	83.9 (-2.4%)	43.8 (-42.5%)	95.6 (+9.3%)	82.9 (-3.4%)	96.0 (+9.7%)	87.4 (+1.1%)	
5. 受託廃棄物の収集運搬に関する 環境配慮	-	-	適正に 収集運搬					適正に 収集運搬		
6. 化学物質の適正管理	-	-	適正に管理					適正に管理		
7. グリーン購入の推進	-	-	グリーン購入推進					グリーン購入推進		
8. 会社周辺の清掃	実施回数	-	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月以上	1回/月	
9. 有給休暇6日/年以上取得	取得者率 (%)	-			38 (-12%)	14 (-36%)	33 (-19%)	対象従業員の52%以上	29 (-23%)	
10. 資格1件/年以上取得	取得者率 (%)	-			19 (-11%)	33 (+3%)	10 (-28%)	対象従業員の38%以上	24 (-14%)	
11. 合併処理浄化槽への転換 工事の促進	件数	-	みなし(単独)浄化槽⇒合併処理浄化槽(転換工事) 【当社のみなし(単独)浄化槽顧客:約1000件】 下関市補助金制度を活用				3件 (-3件)	5件	1件 (-4件)	

(注) ()内は基準年度の実績値に対する増減比率

赤字は目標未達、青字は目標達成、黒字は評価無を示す

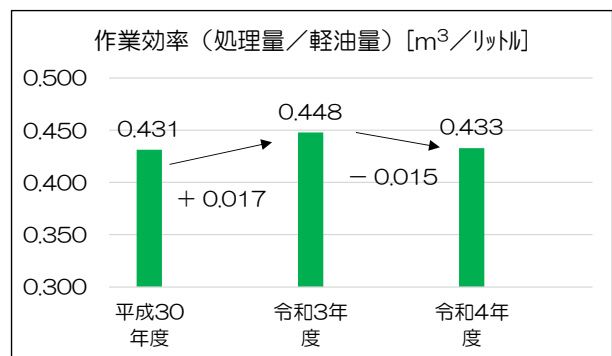
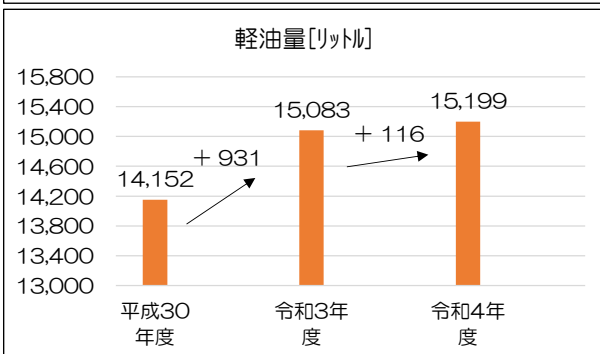
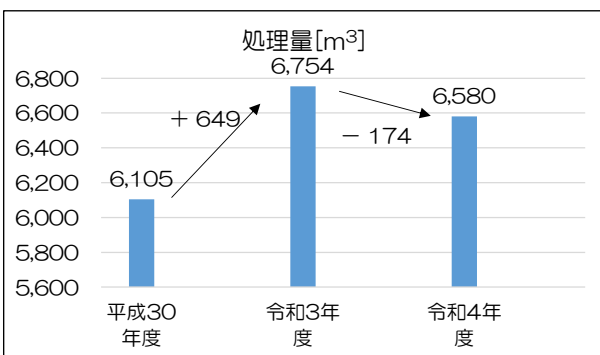
CO₂排出係数・・・ 令和2年度9月まで⇒中国電力:0.697kg-CO₂/kWh(H27年度・実排出係数)を採用
令和2年度10月より⇒大和ハウス工業:0.571kg-CO₂/kWh(H30年度・調整後排出係数)を採用
令和4年7月から⇒中国電力:0.521kg-CO₂(2020年度実績・調整後排出係数)を採用

6.環境経営計画の取組結果とその評価

		環境経営計画	実施状況	令和4年度の取組結果とその評価
				○：実施できている ×：実施できていない －：判定できない、該当しない
1. 二酸化炭素の削減 1.電力使用量の削減	1	I7Jは下記設定温度を目安にし適正に使用する 【環境省推奨設定温度：夏季28℃、冬季20℃】	○	令和4年度は目標未達でした。事務所の動力使用量が多かったことによります。今年度も特に項目3（エアコン元電源OFF）と項目5（床暖房適正使用）の取組に注力して一定の成果が得られました。 一方、エアコンの使用に関して、昨年度に引き続き新型コロナ対策として、エアコンをつけたまま換気（室内に設置した二酸化炭素濃度計が1000ppmに達したら窓を開け、400ppmに下がるまで外気を取り入れる）を行ったことで動力使用量が多くなりました。ただし、新型コロナ感染症も一段落しましたので、様子を見ながらコロナ前のエアコン使用要領に戻したいと考えます。 また、倉庫の電力使用量が多い結果でしたが、これは冷蔵庫の経年劣化によるものと考えており、新品の冷蔵庫に入れ替える準備をしています。尚、従来は冷凍庫付きの冷蔵庫を使用していましたが、冷凍庫は事務所と兼用することにし、倉庫には冷凍庫が付いていない冷蔵庫を設置することとしています。それにより大幅な電力削減を見込んでいます。
	2	昼休憩前に事務所2F休憩室のI7Jを自動運転開始する（I7J使用必要な日）	○	
	3	I7J不使用時期（春・秋）は、I7Jの元電源をOFFにする	○	
	4	エアコンのフィルターを使用頻度に応じて定期的に清掃する	○	
	5	事務所の床暖房を適正に使用する	○	
	6	OA機器は長期不使用時には電源OFFにする	○	
	7	倉庫の不要な照明を消灯する	○	
	8	事務所の不要な照明を消灯する	○	
2.軽油使用量（車両）の削減	1	エコドライブの励行	○	令和4年度は目標未達でした。 ただし、メインであるパキキュム車の軽油使用量が昨年度よりも減少し、処理量（浄化槽清掃・汲取り）に対する軽油使用量の比率を測定した結果、作業効率も問題無いレベルでした。今後、若手作業員の技術向上を進めることで、目標達成が目指せると考えます。 走行距離の短縮（ルート最適化）については、汲取りのお客様の当日依頼により計画ルートを変更するケースが多くなっていますので、前日までに依頼して頂けるよう御協力を働きかけることとしています。
	2	アイドリングストップの励行	○	
	3	冷暖房を適正に使用する	○	
	4	走行距離の短縮（ルート最適化）	×	
	5	車両点検の実施（タイヤ空気圧の適正化等）	○	
2' パキキュム車（軽油）の作業効率向上	1	ベテランの指導による若手の清掃技術向上	○	部署内でコミュニケーションをとりながら、若手の育成に取り組みしています。

<パキキュム車の処理量、軽油量、作業効率データ>

	平成30年度	令和3年度	令和4年度
処理量（浄化槽清掃+汲取り）[m ³]	6,105	6,754	6,580
軽油量[リットル]	14,152	15,083	15,199
作業効率（処理量/軽油量）[m ³ /リットル]	0.431	0.448	0.433



- ・令和4年度は、昨年度より作業効率がやや低下。
- ・令和4年度は未経験の新人作業員が加わり、作業効率よりもOJTを優先させたこともありやや作業効率が低下した面もあるが、基準とする平成30年度と同等程度の水準となっており、特に問題はないと判断している。
- ・今後、ある程度のところで処理量が落ち着くはずであるので、基準の見直しを含めて正確な評価に努める。

※厳密には、軽油量には、処理だけでなく走行による消費量も含まれているため、正味の処理作業効率とは異なるが、走行範囲（業務対象地域）は一定とみなせるため、走行による軽油消費量も含めて年度ごとに比較評価することは妥当と判断。
処理作業の技術向上だけでなく、走行距離短縮等も当該作業効率向上に寄与する。

6.環境経営計画の取組結果とその評価

		○：実施できている ×：実施できていない －：判定できない、該当しない	
	環境経営計画	実施状況	令和4年度の取組結果とその評価
3.軽油使用量（工事関係）の削減	1 アイドリングストップの励行	○	令和4年度も重機を使用する公共工事が多く、軽油使用量が大幅に多くなりました。今後も公共工事での重機の使用が主になりますので、公共工事をいかに順調に進められるかがポイントとなります。
4.ガソリン使用量（車両・工事関係）の削減	1 エコドライブの励行	○	令和4年度は目標未達でした。ただし、令和3年度に対しては低減できました。走行距離短縮（ルート最適化）に関しては、浄化槽点検は基本的に単独業務になるので、各担当者が日々の点検計画を立てる際に踏まえることを徹底し、工事車両は共同業務が多く町外への移動もあるため、工事課内で事前調整を行い、効率よく移動することを徹底します。
	2 アイドリングストップの励行	○	
	3 冷暖房を適正に使用する	○	
	4 走行距離の短縮（ルート最適化）	○	
	5 車両点検の実施（タイヤ空気圧の適正化等）	○	
2. 廃棄物排出量の削減 ・コピー用紙購入量の削減	1 無駄印刷の低減（印刷前にPC作成内容をよく確認する）	○	令和4年度は目標未達でした。コンパクトコスモス認証取得のための取組みや公共工事の報告書作成等でコピー用紙の使用が増えた面がありました。取組3のペーパーレス化の推進については、文書のPDF保存を少しずつ進めていますが今後の課題として残りました。その他の取組は定着してきたと判断します。
	2 印刷枚数を少なくする方法の工夫（両面印刷、縮小印刷等）	○	
	3 ペーパーレス化の推進（PDF保存等によるコピー枚数の低減）	×	
	4 新複合機の積極的な使用（紙詰まりロスの低減）	○	
	5 裏紙の利用	○	
3. 総排水量（水使用量）の削減 ・水使用量の削減	1 節水意識の向上	○	令和4年度は目標達成でした。来期も洗車や用具洗浄への井戸水使用を徹底し、工業用水の使用節減に取り組みます。
	2 洗車、用具洗浄等への井戸水の積極使用（倉庫側）	○	
4. 建設産業廃棄物の再資源化率向上 ・分別廃棄の推進	1 コートから、プラスチックから、ガラス・陶磁器くすの分別廃棄推進	○	令和4年度は目標未達でした。小口民間工事の産廃についても地道に分別に取り組みましたが、業務との兼ね合いで難しい面もありました。今後も難しい面があると思いますが、目標値を意識しながら取り組んでいきます。
5. 受託廃棄物の収集運搬に関する環境配慮 ・適正に収集運搬	1 始業前の収集車両機能点検・整備を徹底する	○	日常的に実施できており取組状況は良好でした。来年度も継続します。
6. 化学物質の適正管理 ・適正管理	1 SDSの使用上の注意事項を守る	○	取組状況は良好でした。来年度も継続します。
	2 適正に保管する	○	
7. グリーン購入の推進 ・グリーン購入の推進	1 商品購入時はグリーン購入を推進する	○	取組状況は良好でした。来年度も継続します。
8. 会社周辺の清掃 ・会社周辺の清掃（1回/月以上）	1 朝礼前に会社周辺の清掃活動を行う（しものせき美化美化大作戦参加）	○	取組状況は良好でした。来年度も継続します。
9. 有給休暇6日/年以上取得 ・対象従業員の52%以上	1 対象従業員へ取得計画を促し、取得状況をフォローする	○	結果：29%（6名/21名）。昨年度より低下しました。今後各業務とも17アクション21の取組で業務効率を上げ、法定5日+1日の有給休暇取得を目指します。
10. 資格1件/年以上取得 ・対象従業員の38%以上	1 対象従業員へ取得計画を促し、取得状況をフォローする	○	結果：24%（5名/21名）。昨年度より向上しました。資格取得状況のボードで取得状況の見える化を継続し、意識向上を図ります。
11. 合併処理浄化槽への転換工事の促進 ・5件	1 単独浄化槽の顧客に対し、各点検担当者からの補助金説明、見積対応、工事対応を計画的に実施する	○	結果：1件。下関市の補助金の説明を実施して工事に繋がった顧客があり、この活動に着手して良かったと考えます。ただし、今後促進していくための取組み方の検討余地は大きく、注力する必要があります。

7. 次年度の環境経営目標

(令和5年度)

事業年度: 4月1日～翌年3月31日

CO₂排出係数
 令和2年度9月まで⇒中国電力: 0.697kg-CO₂/kWh (H27年度・実排出係数)を採用
 令和2年度10月～令和4年6月: 大和ハウス工業: 0.571kg-CO₂/kWh (H30年度・調整後排出係数)を採用
 令和4年7月から⇒中国電力: 0.521kg-CO₂ (2020年度実績・調整後排出係数)を採用

項目	単位	EA21/1年目		EA21/2年目		EA21/3年目		EA21/4年目		EA21/5年目		EA21/6年目		EA21/7年目	EA21/8年目	EA21/9年目		
		平成27年度(基準年度)		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度
		年度計	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標	
1. 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	99,328	98,335	98,366	95,355	92,306	91,857	92,229	91,128	105,516	89,972	102,793	94,295	99,716	93,799	92,643	91,556	
			(-1%)	(-0.97%)	(-4%)	(-7.1%)	(-7.5%)	(-7.1%)	(-8.3%)	(+6.2%)	(-9.4%)	(+3.5%)	(-5.1%)	(+0.4%)	(-5.6%)	(-6.7%)	(-7.8%)	
1-1. 電力使用量の削減	kWh	14,374	14,230	15,008	14,230	13,800	13,583	13,087	12,537	13,921	13,280	14,802	12,962	15,305	12,234	12,141	12,049	
(合計)			(-1%)	(+4.4%)	(-1%)	(-4.0%)	(-5.5%)	(-9.0%)	(-12.8%)	(-3.2%)	(-7.6%)	(+3.0%)	(-9.8%)	(+6.5%)	(-14.9%)	(-15.5%)	(-16.2%)	
①事務所電灯	kWh	9,640	9,544	10,281	9,544	9,585	9,495	9,644	9,495	9,421	9,409	9,124	9,091	9,232	9,158	9,110	9,062	
			(-1%)	(+6.6%)	(-1%)	(-0.6%)	(-1.5%)	(+0.04%)	(-1.5%)	(-2.3%)	(-2.4%)	(-5.4%)	(-5.7%)	(-4.2%)	(-5.0%)	(-5.5%)	(-6.0%)	
②事務所動力	kWh	3,384	3,350	3,613	3,350	3,413	3,333	2,587	2,538	3,507	3,367	4,272	3,367	4,121	2,572	2,538	2,504	
			(-1%)	(+6.8%)	(-1%)	(+0.9%)	(-1.5%)	(-23.6%)	(-25%)	(+3.6%)	(-0.5%)	(+26.2%)	(-0.5%)	(+21.8%)	(-24%)	(-25%)	(-26%)	
③倉庫	kWh	1,050	1,040	827	1,040	514	504	596	504	686	504	1,131	504	1,568	504	494	483	
			(-1%)	(-21.2%)	(-1%)	(-51.0%)	(-52%)	(-43.2%)	(-52%)	(-34.7%)	(-52%)	(+7.7%)	(-52%)	(+49.3%)	(-52%)	(-53%)	(-54%)	
1-2. 軽油使用量(車両)の削減	ℓ	18,927	18,738	19,986	18,738	19,145	18,738	19,847	18,738	20,881	18,738	20,887	20,657	20,769	20,657	20,536	20,441	
			(-1%)	(+5.6%)	(-1%)	(+1.1%)	(-1%)	(+4.9%)	(-1%)	(+10.3%)	(-1%)	(+10.4%)	(+9.1%)	(+9.7%)	(+9.1%)	(+8.5%)	(+8.0%)	
1-2'. バキューム車(軽油)の作業効率向上	m ³ /ℓ	-	-	-	-	0.431	-	0.432	0.435	0.425	0.435	0.448	0.453	0.433	0.453	0.455	0.457	
[処理/軽油(バキューム車)]						【新基準】		(+0.0%)	(+1%)	(-1.4%)	(+1%)	(+3.9%)	(+5%)	(+0.5%)	(+5%)	(+5.5%)	(+6%)	
						(6,105/14,152)		(6,595/15,279)		(6,625/15,584)		(6,754/15,083)		(6,580/15,199)				
1-3. 軽油使用量(工事関係)の削減	ℓ	2,451	2,426	1,703	2,255	1,379	2,058	546	2,058	4,286	2,058	3,108	2,058	2,968	2,058	2,009	1,960	
			(-1%)	(-30.5%)	(-8%)	(-43.7%)	(-16%)	(-77.7%)	(-16%)	(+74.9%)	(-16%)	(+26.8%)	(-16%)	(+21.1%)	(-16%)	(-18%)	(-20%)	
1-4. カリソリン使用量(車両・工事関係)の削減	ℓ	14,262	14,119	13,346	13,121	12,415	11,980	12,744	11,980	13,222	11,980	13,512	11,980	12,668	11,980	11,695	11,410	
			(-1%)	(-6.4%)	(-8%)	(-12.9%)	(-16%)	(-10.6%)	(-16%)	(-7.3%)	(-16%)	(-5.3%)	(-16%)	(-11.2%)	(-16%)	(-18%)	(-20%)	
2. 廃棄物排出量の削減																		
2-1. コピー用紙購入量の削減(一般廃棄物の削減)	kg	256.0	253.4	187.0	179.2	250.0	179.2	261.0	179.2	273.0	179.2	278.0	179.2	398.0	179.2	174.1	169.0	
			(-1%)	(-27.0%)	(-30%)	(-2.3%)	(-30%)	(+2.0%)	(-30%)	(+6.6%)	(-30%)	(+8.6%)	(-30%)	(+55.5%)	(-30%)	(-32%)	(-34%)	
3. 総排水量(水使用量)の削減	m ³	395.0	391.1	334.0	327.9	293.0	281.8	294.0	278.5	203.0	198.2	198.0	190.0	182.0	177.1	173.5	169.9	
(合計)			(-1%)	(-15.4%)	(-17%)	(-25.8%)	(-28%)	(-25.6%)	(-29.5%)	(-48.6%)	(-49.8%)	(-49.9%)	(-51.9%)	(-53.9%)	(-55.2%)	(-56.1%)	(-57.0%)	
2項目 ①倉庫	m ³	329.0	325.7	279.0	273.1	250.0	240.2	250.0	236.9	152.0	148.1	156.0	148.1	145.0	141.5	138.2	134.9	
			(-1%)	(-15.2%)	(-17%)	(-24.0%)	(-27%)	(-24.0%)	(-28%)	(-53.8%)	(-55%)	(-52.6%)	(-55%)	(-55.9%)	(-57%)	(-58%)	(-59%)	
②事務所	m ³	66.0	65.3	56.0	54.8	43.0	41.6	45.0	41.6	51.0	50.2	42.0	42.0	37.0	35.6	35.3	35.0	
			(-1%)	(-15.2%)	(-17%)	(-34.8%)	(-37%)	(-31.8%)	(-37%)	(-22.7%)	(-24%)	(-36.4%)	(-36.4%)	(-43.9%)	(-46%)	(-46.5%)	(-47%)	
4. 建設産業廃棄物の再資源化率向上	%	86.3	87.3	92.0	93.3	83.9	93.3	43.8	93.3	95.6	96.0	82.9	96.0	87.4	96.0	96.3	96.8	
			(+1%)	(+5.7%)	(+7%)	(-2.4%)	(+7%)	(-42.5%)	(+7%)	(+9.3%)	(+9.7%)	(-3.4%)	(+9.7%)	(+1.1%)	(+9.7%)	(+10%)	(+10.5%)	
5. 受託廃棄物の収集運搬に関する環境配慮	-	適正に収集運搬	適正に収集運搬												適正に収集運搬する			
															(作業中、運搬中に外部に飛散漏洩させない)			
6. 化学物質の適正管理	-	適正に管理	適正に管理												適正に管理する			
7. グリーン購入の推進	-	-	商品購入時はグリーン購入を推進												商品購入時はグリーン購入を推進する			
8. 会社周辺の清掃	実施回数	-	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月	1回/月以上	1回/月以上	1回/月以上	
9. 有給休暇6日/年以上取得	取得者率(%)	-					対象従業員の50%以上	38	対象従業員の50%以上	14	対象従業員の52%以上	33	対象従業員の52%以上	29	対象従業員の52%以上	対象従業員の60%以上	対象従業員の70%以上	
								(-12%)		(-36%)		(-19%)		(-23%)				
10. 資格1件/年以上取得	取得者率(%)	-					対象従業員の30%以上	19	対象従業員の30%以上	33	対象従業員の38%以上	10	対象従業員の38%以上	24	対象従業員の38%以上	対象従業員の40%以上	対象従業員の50%以上	
								(-11%)		(+3%)		(-28%)		(-14%)				
11. 合併処理浄化槽への転換工事の促進	件数	-	みなし(単独)浄化槽⇒合併処理浄化槽(転換工事)【当社のみなし(単独)浄化槽顧客: 約1000件】								6件	3件	5件	1件	5件	8件	22件	
			下関市補助金制度を活用									(-3件)		(-4件)				

※ 令和5年度目標は、令和4年度実績を踏まえて、より高い目標値を設定。ただし未達項目は、基本的に令和4年度目標値のスライドとする。

ただし、「1. 二酸化炭素排出量の削減」の目標値は、1-1～1-4の目標値から計算した値を目標値とする。

※ 事務所動力の令和5年度以降の目標値は、新型コロナウイルス感染症が終息する前提のもの。

※ 軽油使用量(車両)は、バキューム車での作業量(浄化槽清掃量)が、基準年度(H27年度)当時と比べて大幅に増加しており、基準年度に対する低減目標を設定することが現実的ではなくなった。

そこで、R4年度以降はR3年度並のバキューム車での作業量が見込まれるため、R3年度の軽油使用量実績を踏まえた目標設定を行う。

それに伴い、二酸化炭素排出量の目標設定も、R3年度の軽油使用量実績を考慮したものとす。

(ただし、過年度との比較のため、増減比率はH27年度実績比で表す。)

()内は基準年度の実績値に対する増減比率

赤字は目標未達、青字は目標達成、黒字は評価無を示す

8. 次年度の環境経営計画

(令和5年度)

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
1 電力使用量の削減	1 エアコンは下記設定温度を目安にし適正に使用する【環境省推奨設定温度：夏季28℃、冬季20℃】	←	→	←	→
	2 昼休憩前に事務所2F休憩室のエアコンを自動運転開始する(エアコンの使用が必要な日について)	←	→	←	→
	3 エアコン不使用時期(春・秋)は、エアコンの元電源をOFFにする	←	→	←	→
	4 エアコンのフィルターを使用頻度に応じて定期的に清掃する	←	→	←	→
	5 事務所の床暖房を適正に使用する	←	→	←	→
	6 OA機器は長期不使用時には電源OFFにする	←	→	←	→
	7 倉庫の不要な照明を消灯する	←	→	←	→
	8 事務所の不要な照明を消灯する	←	→	←	→
2 軽油使用量(車両)の削減	1 エコドライブの励行	←	→	←	→
	2 アイドリングストップの励行	←	→	←	→
	3 冷暖房を適正に使用する	←	→	←	→
	4 走行距離の短縮(ルート最適化)	←	→	←	→
	5 車両点検の実施(タイヤ空気圧の適正化等)	←	→	←	→
3 バキューム車(軽油)の作業効率向上	1 ベテランの指導による若手の清掃技術向上	←	→	←	→
4 軽油使用量(工事関係)の削減	1 アイドリングストップの励行	←	→	←	→
5 ガソリン使用量(車両・工事関係)の削減	1 エコドライブの励行	←	→	←	→
	2 アイドリングストップの励行	←	→	←	→
	3 冷暖房を適正に使用する	←	→	←	→
	4 走行距離の短縮(ルート最適化)	←	→	←	→
	5 車両点検の実施(タイヤ空気圧の適正化等)	←	→	←	→

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
コピー用紙購入量の削減(一般廃棄物の削減)	1 無駄印刷の低減(印刷前にPC作成内容をよく確認する)	←	→	←	→
	2 印刷枚数を少なくする方法の工夫(両面印刷、縮小レイアウト等)	←	→	←	→
	3 ペーパーレス化の推進(PDF保存等によるコピー枚数の低減)	←	→	←	→
	4 新複合機の積極的な使用(紙詰まりロスの低減)	←	→	←	→
	5 裏紙の利用	←	→	←	→

3. 総排水量(水使用量)の削減

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
水使用量の削減	1 節水意識の向上(倉庫・事務所両方)	←	→	←	→
	2 洗車、用具洗浄等への井戸水の積極使用(倉庫側)	←	→	←	→

4. 建設産業廃棄物の再資源化率向上

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
再資源化率向上	1 コンクリートがら、アスコンがら、ガラス・陶磁器くずの分別廃棄推進	←	→	←	→

5. 受託廃棄物の収集運搬に関する環境配慮

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
適正に収集運搬	1 始業前の収集車両機能点検・整備を徹底する	←	→	←	→

6. 化学物質の適正管理

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
適正管理	1 SDSの使用上の注意事項を守る	←	→	←	→
	2 適正に保管する	←	→	←	→

7. グリーン購入の推進

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
グリーン購入の推進	1 商品購入時はグリーン購入を推進する	←	→	←	→

8. 会社周辺の清掃

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
会社周辺の清掃(1回/月以上)	1 朝礼前に会社周辺の清掃活動(しものせき美化美化大作戦参加)	←	→	←	→

9. 有給休暇6日/年以上取得

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
対象従業員の52%以上(取得者率)	1 対象従業員へ取得計画を促し、取得状況をフォローする	←	→	←	→

10. 資格1件/年以上取得

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
対象従業員の38%以上(取得者率)	1 資格一覧表(ホワイトボード)を使って、資格取得を促す	←	→	←	→

11. 合併処理浄化槽への転換工事の促進

取組目標	活動項目	活動計画			
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
転換工事(5件)	1 単独浄化槽の顧客に対し、各点検担当者からの補助金説明、見積対応、工事対応を計画的に実施する	←	→	←	→

9.環境関連法規等への違反、訴訟の有無

当社に適用される主な環境関連法規（水質汚濁防止法、下水道法、浄化槽法、消防法、資源有効利用促進法、廃棄物処理法、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、建設リサイクル法、フロン排出抑制法）の遵守状況を確認した結果、これらの環境関連法規への違反はありません。

また、関係当局からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟も過去5年間ありません。

10.代表者による全体評価と見直し・指示の結果

1) 評価

環境経営システムが有効に機能しているか	<p>・中間審査で適合評価を受けており、良好と判断する。</p> <p>ただし、今後継続的な改善は必要。</p> <p>2月にJICA外コスモスの認証を取得したが、JICA外コスモスとエコアクション21の最適な運用の仕方を考えること。</p> <p>経営資源を効率的に使用することが重要。</p>
環境への取組は適切に実施されているか	<p>・中間審査で適合評価を受けており、良好と判断する。</p> <p>ただし、燃料（ガソリン、軽油）の使用量削減の取り組みについてはエコドライブだけでなく、走行距離短縮も取り上げているが、具体的な取組みができていない。難しいことではあるが、切り口を粘り強く探して取り組むこと。</p>

2) 見直し

環境経営方針変更の必要性	無し。
環境経営目標変更の必要性	建設・産廃業ガイドライン2017年版及び令和4年度実績を踏まえて、新たに令和4年度の環境経営目標を設定する。 ただし外部、内部の状況変化に適した取組とすること。
環境経営計画変更の必要性	令和5年度の環境経営目標に対する新たな環境経営計画を設定する。
実施体制の変更の必要性	建設・産廃業ガイドライン2017年版に従い、経営者による課題とチャンスの整理を行い、それにより変更した環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画に基づき、環境経営システムの最適化に取り組む。